あなたと議会を結ぶ

りっとう議会だより

No. 189
2019年2月１日発行

発行／栗東市議会　　編集／議会広報編集特別委員会　　〒520-3088　滋賀県栗東市安養寺一丁目13番33号
TEL 077-551-0137　FAX 077-551-0146　メールアドレス／ gikai@city.ritto.lg.jp

＜第7回子ども議会＞

委員会報告　3
常任委員会が議案を審査

代表質問　5
各会派が所信表明について聞きました

個人質問　9
議員がそれぞれのテーマについて聞きました

子ども議会　16
第7回子ども議会を開催しました

平成30年11月臨時会は、市長から提案された1議案（予算１件）、12月定例会は、20議案（条例6件、予算8件、その他6件）について審査しました。

12月定例会

条例

一部改正

市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

公職選挙法及び公職選挙法施行令の改正に伴い、市議会議員の選挙においてもビラの頒布が可能となるため、ビラ作成についても公費負担できるよう、改正を行うものです。

（可決・全）

市長、副市長の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例

人事院勧告に伴う特別職の国家公務員の期末手当の改正に準じ、市長、副市長、教育長の平成30年12月及び平成31年度における期末手当の支給月数の改正を行うものです。

（可決・全）

職員の給与に関する条例

人事院勧告に伴う国家公務員の給与改正に準じ、職員の給料月額、平成30年12月及び平成31年度における勤勉手当の支給月数の改正を行うものです。

（可決・全）

総合福祉保健センターの設置及び管理に関する条例

総合福祉保健センターに設置している児童発達支援事業所を児童発達支援センターとし、地域の中核的な療育支援施設として位置づけ児童発達支援機能の充実を図るため、所要の改正を行うものです。

（可決・全）

老人福祉センターの設置及び管理に関する条例

ゆうあいの家内に栗東西地域包括支援センターを設置することに伴い、施設利用料金等に変更が生じたため、所要の改正を行うものです。

（可決・全）

廃棄物の処理及び清掃に関する条例

湖南広域行政組合から「し尿及び浄化槽汚泥の収集・運搬にかかる権能」が平成31年4月に構成4市（草津市・守山市・野洲市・栗東市）に返還されることに伴い、所要の改正を行うものです。

（可決・全）

その他

おうみ自治体クラウド協議会規約の変更について関係普通地方公共団体が協議することにつき議会の議決を求めることについて

基幹系システムの共同利用を進めるおうみ自治体クラウド協議会に甲賀市が加入することに伴う規約の改正について、関係普通地方公共団体が協議することにつき議会の議決を求めるものです。

（可決・全）

市道　2路線廃止、3路線認定

開発に伴う市道廃止による再認定のため上鈎池南4号線、野尻区内10号線を一旦廃止し再度認定。開発による道路の認定のため下鈎栗林丁子線を認定するものです。

（可決・全）

守山市道路線の認定の承諾につき議会の議決を求めることについて

守山市長が本市行政区域内を守山市道路線として認定することを承諾するにつき、議会の議決を求めるものです。

（可決・全）

指定管理者の指定について

老人福祉センター及び身体障害者デイサービスセンターの指定管理者として、社会福祉法人　栗東市社会福祉協議会を指定するものです。

（可決・全）

和解を成立させることにつき議会の議決を求めることについて

学校給食共同調理場建設工事につき、平成28年7月1日付で締結した建築設計業務・建築工事監理業務委託契約に基づき、申立人が履行した設計業務における不具合に関し、和解を成立させるため、地方自治法第96条第1項第12号の規定により、議会の議決を求めるものです。

（可決・全※）
※早退の小竹議員を除く。

採決結果の後に「全」とあるのは、全員一致で可決されたことを表しています。

平成30年度　一般会計・特別会計補正予算

会計名	補正額	予算総額	主な内容	採決結果
一般会計（第7号）	1億8,578万1千円（増額）	251億9,333万9千円	民生費の増額等	可決・全
国民健康保険特別会計	1億6,928万7千円（増額）	53億4,377万9千円	保険給付費等の増額	可決・全
後期高齢者医療特別会計	183万8千円（増額）	6億　211万7千円	総務費の増額	可決・全
介護保険特別会計	138万9千円（増額）	35億7,173万6千円	地域支援事業費の増額	可決・全
大津湖南都市計画事業栗東新都心土地区画整理事業特別会計	122万円（増額）	8,180万8千円	土木費の増額	可決・全
水道事業会計	2,218万1千円（減額）	24億3,258万9千円	営業費用の減額等	可決・全
公共下水道事業会計	3,760万2千円（減額）	36億　106万7千円	建設改良費等の減額	可決・全
農業集落排水事業特別会計	251万8千円（増額）	3,631万7千円	農林水産業費の増額	可決・全

平成30年度　一般会計補正予算
（11月臨時会）

会　計　名	補　正　額	予　算　総　額	主　な　内　容	採決結果
一　般　会　計（第6号）	544万5千円（増額）	250億755万8千円	総務費の増額	可決・全

委員会報告

予算常任委員会

平成30年度補正予算について審査

当委員会は、付託された議案8件について審査しました。

一般会計補正予算のうち職員給与費の時間外手当について、委員から、西日本豪雨、台風12号・20号・21号及び24号に対する災害対策に従事した職員の時間外勤務手当に関し、水防に従事した職員の時間外手当の配分と出動人数は、との質疑に対し、当局から、時間外勤務手当525万3千円のうち、危機管理課分が500万円、土木交通課分が25万3千円である。危機管理課分については、台風等で災害対応に従事した職員が延べで389名、うち時間外勤務手当対象職員が216名である、との答弁がありました。

不法投棄対策事業について、委員から、不法投棄物除去委託料減額理由は、との質疑に対し、当局から、昨年度までは、市内に8名委嘱している不法投棄監視員のパトロールにより不法投棄の収集が減少してきたことから、本年については一日でなく午後から半日の収集と変更したことによる減額補正である、との答弁がありました。

保育園臨時職員配置事業について、委員から、約3000万円の減額の理由は、との質疑に対し、当局から、当初予算では、保育士は月額雇用を中心としているが、週3日、短時間、午前中だけなど、希望に沿ったかたちでの雇用をしており、時間給雇用と月額雇用で差がでてきていると考えている。

当初では月額雇用79人対応のところ、月額雇用30人と時間給雇用59人の89人の雇用である、との答弁がありました。

当委員会に付託された8議案について、その他多くの質疑の後、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

▲保育士就職支援研修の様子

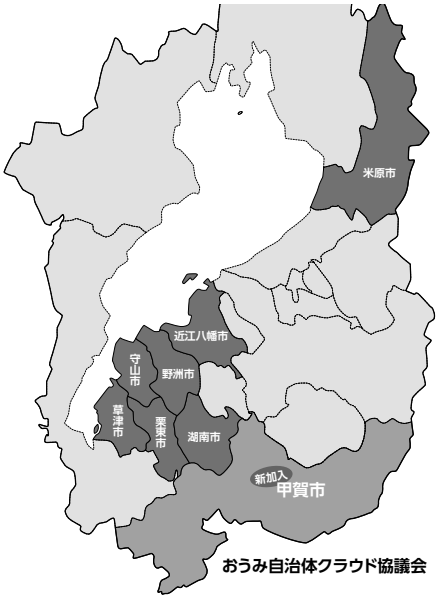
総務常任委員会

おうみ自治体クラウド協議会規約の変更について審査

当委員会は、付託された議案5件について審査しました。

おうみ自治体クラウド協議会規約の変更について関係普通地方公共団体が協議することにつき議会の議決を求めることについて、委員から、甲賀市が新加入され、協議会の構成が8団体※になり、既加入団体における契約期間と金額はどうなるのか、との質疑に対し、当局から、加入して5年間は一定の額（人口1万人当たり月額54万円）であり、更新する時は、割り勘効果が見込める、との答弁がありました。当委員会に付託された5議案について、その他多くの質疑の後、採決の結果、全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

※8団体…栗東市、草津市、守山市、野洲市、湖南市、近江八幡市、米原市、甲賀市



おうみ自治体クラウド協議会

環境建設常任委員会

廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定等を審査

当委員会は、付託された議案4件について審査しました。また、審査に先立ち市道名（仮称）伊勢絡線の現場視察を行いました。

廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について、委員から下水道の普及により、し尿の収集戸数は急激に減少している。現在対象となる戸数はどれくらいか、との質疑に対し、当局から汲み取り業者が2社あり、一般家庭では333戸と68戸、事業系汲み取りでは130戸と39戸、工事現場等の仮設トイレは5基と9基である、との答弁がありました。

当委員会に付託された4議案について、その他多くの質疑の後、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

▲現場視察の様子

文教福祉常任委員会

総合福祉保健センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について審査

当委員会は、付託された議案3件について審査しました。

委員から、児童発達支援センターの業務の保育所等訪問支援事業について、訪問の頻度はどれくらい予定しているのか、との質疑に対し、当局から、厚生労働省の規定で必要な児童に必要な支援を行うとあり、必要な方についてサービス調整会議をする。指針では月に2回くらい、ケースによって3か月、6か月、1年未満等期間を切っての訪問になる。

また、そういう制度を使いたいというところから出発し、保護者と園と担当課でサービス調整会議を行い、その中で合意のうえで進めていく内容となっている、との答弁がありました。

当委員会に付託された3議案について、その他多くの質疑の後、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

▲児童発達支援センター

代表質問

◆各会派が、市長の所信表明について質問しました。質問と答弁の要旨をお知らせいたします。なお、紙面の都合上掲載を省略している質問も含め、YouTubeにて本会議の様子を視聴できますので、ぜひご覧ください。

栗東再生市民派クラブ

○は代表者　●は質問者
○●櫻井　浩司　　國松　篤

「はじめに」について

問　財政面で明るい兆しを市民の皆さんに実感していただくとのことだが、平成20年度から続いてきた改革プログラムをもとに戻すことこそが市民の皆さんに実感していただけることだと思うが、どう思うか。

答　平成20年度から市民の皆さんにはご協力いただいているが、平成30年度の決算において財政健全化をはかるとしており、その達成状況については、慎重に見極める必要がある。

「経済に安心を」について

問　大型商業施設の立地促進に取り組んでいくとのことだが、周辺自治会の合意や守山市からの慎重な対応を求める意見書の採択などがあり、ハードルは高い印象があるが、その方向性を問う。

答　守山市議会から県に慎重な対応を促す意見書が出されたことは承知している。この立地促進は栗東市域だけではなく大津湖南地域におけるにぎわいの創出や、経済の活性化が期待できると考えており、周辺自治会や近隣市に対し、栗東市の考えをしっかり説明していく。

「教育・子育てに安心を」について

問　就学前の医療費無料化を前任期4年の実績として掲げているが、保護者の皆さんからは、せめて小学校中学年までは無料にして欲しいとの声があるのはご存知か。

答　就学後の子どもの通院については、3割負担となるので、医療費負担について軽減を求める声があることは承知している。小学校入学後の医療費助成については、子どもの医療を保障し、子育て支援となることから、市町の少子化の度合いや財政力によることなく国または県の制度として統一されるよう要望しているところである。今後は、国・県・近隣市の状況や社会情勢を踏まえ、本市の財政状況等を十分考慮して、拡充を目指していく。

「むすびに」について

問　夢・希望・目標の実現のために、全員野球で共に努力し、共に笑い、共に涙し、共に喜び合える組織力でこの4年間挑戦し続け、「ワクワクできる栗東市」を目に見える形にしていきたいとのことだが、議論は良しとするも、議員からの提言を実としない傾向が見られる。

　良い意味で市長、議員が緊張感をもって事に当たる必要があるのでは。

答　議員の提言を尊重するのはもちろんのこと、活発な議論を経て、一歩ずつ確実に施策を実現し、「いつまでも住み続けたくなる安心な元気都市栗東」を構築していく決意である。

公　明　栗　東

○は代表者　●は質問者
○●野々村　照美　　小竹　庸介

「はじめに」について

問　**「いつまでも住み続けたくなる安心な元気都市栗東」の実現に向けてＳＤＧｓの取り組みは。**

答　各部局で実施している施策間の横断的連携や目標管理等で活用されているなど、他の地方自治体のＳＤＧｓの取り組み事例を研究しながら、現在策定中の第六次栗東市総合計画の中で検討していきたい。

「経済に安心を」について

問　**大型商業施設の立地促進にともなう小規模事業者への影響は。**

答　消費者の獲得競争による売上減や雇用機会の減少などの影響が考えられる一方で、共存共栄の場合には、相乗効果による顧客増や売上増、雇用機会の増加なども考えられる。

「教育・子育てに安心を」について

問　**若い世代の転出を防ぐための取り組みは。**

答　今年度の地方創生関連事業において、空家等対策事業や、妊婦一般検診健康診査委託事業、こんにちは赤ちゃん訪問事業などに取り組んでいる。

「福祉・健康に安心を」について

問　**介護施設整備について伺う。**

答　昨年10月の介護老人福祉施設の実待機者数の調査では待機者は99人である。在宅生活が困難になった要介護高齢者が円滑にサービスを利用できるよう、第7期介護保険事業計画に基づき、施設サービスの整備を図っていく。

問　**健康運動公園の事業内容について伺う。**

答　サッカー等の球技ができる多目的広場と、いろいろな世代が楽しんで集える芝生広場に加え、防災機能も兼ね備えた公園整備に向け基本計画の策定を進めている。さらに、「馬のまち栗東」の特色を活かし、利用者が馬とふれあえる施設を併設することにより、健康と福祉にも繋がる癒し効果のある公園として、ホースパーク構想の策定を併せて計画していきたい。

「暮らしに安心を」について

問　**栗東駅・手原駅周辺のバリアフリー化の取り組みは。**

答　利用者の利便性向上に向け、西口エレベーターホールまでの上屋設置や案内標識の設置、栗東駅周辺での点字ブロック設置を年次的に進めていく。

問　**県道栗東志那中線の渋滞緩和について伺う。**

答　大津湖南幹線の守山市以北への整備延伸や片岡栗東線4車化整備、国道1号バイパスとともに山手幹線の整備促進等、道路ネットワークの構築が着実に進むことにより交通分散効果が期待出来ると考える。

新　政　会

○は代表者　●は質問者

○藤田　啓仁　●寺田　範雄　上田　忠博　片岡　勝哉　武村　賞
谷口　茂之　田中　英樹　三木　敏嗣　中野　光一

第六次総合計画策定について

問 **中長期を見据えた具体的な構想を問う。**

答 大型商業施設の立地促進、ホースパーク構想の推進、待機児童の解消、教育環境の整備、乳幼児福祉医療費制度の拡充などに取り組む。

「経済に安心を」について

問 **農林業の活性化や改善・保全計画を問う。**

答 災害被害に対して、減災に向けた治山施設や森林整備を進め、適切な森林保全に努める。農地の保全については、栗東農業振興地域整備計画により、農業委員会と連携し適切な保全と振興に努める。農業の人材確保については、新規就農者支援や認定農業者への移行推進・集落営農組織の法人化等を進め、国・県と共に支援を実施する。

問 **ホースパーク構想の規模・計画・費用対効果を問う。**

答 「馬」をキーワードにしたシンボル的公園の整備を想定し、健康運動公園基本計画策定と、ホースパーク構想策定を並行して進め、意見聴取や協議を行い、規模・計画・費用対効果など具体的な検討をする。

「子育てに安心を」について

問 **「後継プラン」における周辺のまちづくりを問う。**

答 国道1号・8号バイパスとの連携も踏まえて、これからの国土利用計画・都市計画マスタープランの策定において、検討していく。

問 **保育士の人材確保に向けた、各種学校施設等との連携や支援を問う。**

答 学校等との連携も有効と考え検討する。育成支援については、各施設等で指導相談業務を行い、離職防止に努める。

「福祉・健康に安心を」について

問 **滋賀県での国民体育大会に向けて、スポーツ施設の改修にあたり、内容と種別・ランニングコスト等を問う。**

答 将来の市スポーツ振興の拠点として、多目的利用も念頭に将来のランニングコストも考慮し、長寿命化を計画していく。

「暮らしに安心を」について

問 **「公共施設等総合管理計画」に基づく、個別施設計画策定の進捗状況を問う。**

答 「公共施設等総合管理計画」および「公共施設の個別施設計画策定のための方針」に基づき、平成32年度末までに施設ごとの個別施設計画を策定し、その翌年度には財政計画に反映したいと考えている。道路・橋梁・上下水道・市営住宅については、個別の長寿命化計画等による補修工事を実施中である。今後は状況に応じた計画の見直しを図り、公共施設の適正管理に努める。

栗東市民ネットワーク

○は代表者　●は質問者
○中村　昌司　●田村　隆光　　林　好男　　上石田　昌子

所信表明に関して

問　「経済に安心を」について、野村市政は、極めて厚い優遇策で企業誘致を中心にまちづくりを進めているが、人口流入施策と定住環境整備とのセットでなければ持続可能な地域経済の発展には繋がらない。衣料系など生活必需品の調達を近隣市に依存している状況の中、商業施設等の整備はどのように進めるのか伺う。

答　定住環境の利便性向上に対しては商業施設をはじめとした企業の立地に向け、空き土地等の情報収集とともに、事業者と土地所有者等とのマッチングに努めていく。

問　森林について、伐採適齢期を迎えた多くの地域資源がある。これらを活用するための実行可能な活用計画や林野の保全から治山事業まで一体的な計画について伺う。

また農業政策においては持続可能な農業として振興するとしながらも、一方では市民のささやかな幸せである市民農園の撤廃や農振地を大型商業施設誘致のために見直すなど農業に対する方向性が見えない。どう振興していくのか。

答　林業は、採算性の悪化、所有者や境界が不明、担い手不足等により放置された森林が顕在化している。このような状況を鑑み、森林環境税（仮称）の活用やJクレジット※の推進支援等により適切な森林整備ができるよう取り組む。

農業は、水田農業と畑作物を基幹作物と位置づけ、集落営農組織と認定農業者等により農地集積・集約を推進し都市近郊という地理的条件を活かし園芸施設栽培など新たな農業経営を支援していく。

問　教育・子育てに安心をについては、待機児童解消のために保育士確保は重要。人材確保のために保育士を養成する大学や専門学校等へもトップセールスすべきではないか。

答　保育士確保のために、大学等との連携にトップセールスを進めていく。

問　学童保育所の職員数や資格などを緩和する方針が発表された。今後、安全や質の低下につながることが危惧される。安全や質は守れるのか。

答　今後も安全を確保し、質の低下につながらないよう運営していく。

問　子どもはまちの未来。今後、策定する教育大綱はSDGsの理念を考慮すべきでは。

答　SDGsの理念を参考に平成31年度策定予定の第六次栗東市総合計画を踏まえ策定作業を進めていく。

問　行政に安心をについて、国の人事交流制度を活用し将来的な国とのパイプ役や要の職員を養成すべきではないか。

答　中央省庁等への職員派遣について、積極的に可能性を探り、将来の栗東を担う職員の育成に努めていく。

※Jクレジット…温室効果ガスの排出削減量や吸収量をクレジットとして国が認証する制度

個人質問

12月12日・13日・14日の3日間、12人が質問しました。質問と答弁の要旨をお知らせいたします。なお、紙面の都合上掲載を省略している質問も含め、YouTubeにて本会議の様子を視聴できますので、ぜひご覧ください。

ページ	質問者	質問事項
9	藤田　啓仁	教育、子育て環境の充実と子育てのための12か条の推進について
		観光政策に基づいた観光資源開発による観光事業の創出について
		明るさの見えてきた財政のさらなる健全化について
10	上石田 昌子	学校給食共同調理場（給食センター）稼動後の様子について
		平成31年度栗東市予算編成方針から鑑みる「人づくり」について
	櫻井　浩司	手話言語条例の制定について
11	三木　敏嗣	（仮称）手話言語及び障がい者コミュニケーション支援条例制定に向けて
	片岡　勝哉	国民健康保険における保険者努力支援制度と健康増進のアプローチについて
		馬のまち栗東の馬事業について
12	田中　英樹	次代を担う子どもたちの教育について
	野々村 照美	高齢者のフレイル予防について
		訪問福祉理容サービスの助成について
13	寺田　範雄	栗東市行政の改善について
	大西　時子	ごみの発生抑制・減量化の推進について
		中学校卒業までの医療費助成で子育て支援を
14	谷口　茂之	迅速かつ実効ある「空家等」対策について
	中野　光一	ため池の整備の進捗状況と自然エネルギーの活用について
15	中村　昌司	小学校の卒業式における「袴」等の着用について
		地方選挙等における投票率の向上について

※議長・副議長・監査委員は、原則として個人質問は行わないことを申し合わせています。

子育てのための12か条の推進について

藤田　啓仁 議員

問　「道徳は、学校で習っているから、地域や家庭で教える必要がないのではなく、地域や家庭でこそ教える必要がある。※」道徳教育の難しさを補完できるのは「子育てのための12か条」であると考えるが、市の考えは。

答　この取り組みは、子どもたちが礼儀、マナーを身に付けるための一助となっているだけでなく、子ども達の問題行動の減少にもつながることが考えられる。地域や関係機関等、社会全体が連携して「子育てのための12か条」の取り組みを推進することが道徳教育の充実に繋がっていく。

※平成30年5月10日付け、滋賀報知新聞「国政刻刻」より引用。

観光物産協会の役割について

問　イベントや、観光についての振興には観光物産協会の役割は大きいと考えるが、市の考えは。

答　（仮称）観光振興ビジョンでは、市と観光物産協会の役割を明確にして、双方が連携を深め、効果的、効率的に観光振興事業が推進できるよう努める。

財政のさらなる健全化について

問　不交付団体になって財政の健全化を図りながら安定した収支バランスが取れる状態になるには、支出を収入がどの程度上回ればよいのか。

答　平成30年度予算を例にすると、普通交付税と臨時財政対策債の合計2億6千633万円の基準財政収入額の伸びがあれば、交付税制度で調整される財源不足は解消される。安定した収支バランスが取れる状態になるのには、より一層の収入確保が必要になる。

個人質問

学校給食共同調理場稼働後の様子について

上石田　昌子 議員

問 **小・中学校の共通メニューの実現が必要と考えるが。**

答 同調理場の基本計画において、調理時間の短縮や、食中毒発生時のリスク分散の理由から、現在2献立制の採用が決められており、実施している。

問 **中学生や保護者への「食育の推進」はどのように進めているのか。**

答 保護者と生徒を対象とした「給食だより」の配布や給食時間の校内放送資料の提供を行っており、次年度から新たに、栄養教諭による食育の授業を予定している。

▲給食の一例

問 **9月・10月の小学校と中学校の全体の残食量を問う。**

答 小学校は9月約600kg、10月約970kg、中学校は9月約390kg、10月約700kgとなっている。

次年度栗東市予算編成方針から鑑みる「人づくり」について

問 **コミセン職員の、人材確保および育成と、その採用について伺う。**

答 引き続き人材確保と育成に努め、次年度より採用方法も面接の重複解消に向け、地域と市が合同で面接試験を実施する予定である。

問 **シルバー人材センターの活用状況と、依頼業務拡大について伺う。**

答 高齢者の就職機会確保の観点から、市として可能な限りの支援に加え、業務（文書配送・清掃・除草・剪定）依頼を行っている。

問 **防災・減災の視点による、市民の安全確保の為のコミュニティ組織の構築について、考えを問う。**

答 全自治会に自主防災組織の設置を目指すとともに、出前トーク等の市民啓発、防災士などの地域リーダー育成に取り組んでいく。

手話言語条例の制定について

櫻井　浩司 議員

問 **制定についてのきっかけは、手話奉仕員の入門講座を受講し、ろう者と知り合い、制定をお願いされたことにある。障害者差別解消法に照らし、行政はあらゆる障がい者への情報保障が必然であると考える。市長が言っている「いつまでも住み続けたくなる安心な元気都市栗東」に「誰にでも優しいまち栗東」を付け加えてほしい。そのためにも条例は、聴覚障がい者のためにだけあるとの考えを捨て、障がいのあるなしにかかわらず、すべての人がコミュニケーションがとれる条例の制定を願うが、考えは。**

答 人と人がつながり、助け合う共生社会のために、条例制定は、施策を推進する上で、非常に有効であり、条例制定を目指している。「手話は言語である」との認識のもと、手話への理解と普及、通訳者の養成等を図り、コミュニケーションをとるうえでの障壁をなくすため市・市民・事業者が何をすべきか明らかにしていきたい。今後は手話奉仕員の育成のため、手話入門講座・基礎講座の同時開催を考える。

問 **今回、補正予算を計上した検討委員会のメンバー構成は。**

答 学識経験者・障がい者本人・障がい者の家族・関係団体の代表者・公募による市民で構成する。

問 **関係団体に、日ごろから手話に接している手話サークルの方々を入れるべきと思うが、考えは。**

答 公募でもあるが、手話サークルの方にも直接声をかけるようにしていく。

▲「ありがとう」の手話表現

個人質問

（仮称）手話言語及び障がい者コミュニケーション支援条例制定に向けて

三木　敏嗣　議員

問　**条例制定の考えを問う。**

答　手話言語の確立と、手話への理解と普及、通訳者の養成等を図り、要約筆記、点字、音訳など、多様なコミュニケーション支援についても条例制定の検討を進める。

問　**条例制定に向けての予定は。**

答　来年12月議会に条例案を上程し、２０２０年1月の施行を目標に取り組む。

問　**手話言語をコミュニケーションツールと考え、明石市の取り組みのように各小学校4年生を対象に手話言語の授業を行う考えは。**

答　現在、多くの小学校にて総合的な学習時間で外部講師を招いて手話を学んだり、人権集会や音楽会の合唱での取り組み等を通して、手話についての学習を行っている。

　また、県立聾話学校との交流を定期的に行っている学校もある。

問　**今後の考えは。**

答　手話の学びを通して、子どもは誰もがより良く関わり合うためのコミュニケーション手段を知り、共に生きること、相手を思いやる大切さを理解することができる。今後も継続して手話を身近なものとし、理解を深める取り組みを充実させていく必要があると考える。

問　**共生のまちづくりを推進するために、商業者や地域の団体が、障がいのある人に必要な合理的配慮を提供するための費用※を助成する「障がい者配慮条例」についての考えを問う。**

答　県の「障がい者差別のない共生社会づくり条例」が4月施行後、協力しつつ、コミュニケーションの促進のための施策については、鋭意検討をしていく。

※例えば、点字メニュー・チラシの音訳・筆談ボード・簡易スロープ・手すり等の購入費用

国民健康保険における保険者努力支援制度と健康増進のアプローチについて

片岡　勝哉　議員

問　**保険者努力支援制度の主な指標の実績は。**

答　特定健診受診率・特定保健指導の受診率・メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率・がん検診の受診率・保険税の収納率が他市に比べて低い。

問　**指標の向上のためにも「ポピュレーションアプローチ」が今後は重要となってくるのではないか。**

答　健康寿命延伸のためにも、乳幼児期から高齢期まで、生活習慣の改善、心身機能の維持・向上が重要と考えており、今後も検診機会の提供とともに、健康増進への取り組みを進めていく。

▲集団特定健診の結果返し会場でのミニ健康講座（草津市）

「馬のまち栗東」の馬事業について

問　**今日まで行ってきた馬事業について、市はどのような評価と課題があると考えているのか。**

答　馬のまちとしての認知度は向上したものと考えており、今後は、更なる認知度の高まりにより、まちの活性化に繋げる必要がある。そのため、継続した事業展開が重要で、身近に馬を感じられる取り組みや、気軽に馬と触れ合える環境づくりなどが必要であると考えている。

問　**馬のまち栗東とは、どのような状態のことを指すのか。**

答　一言でこういう状態ということは、表しにくい。

問　**これまでの総括を行ったうえで明確なビジョンを示していく必要があるのではないか。**

答　今日までの事業を精査し、今後、具体的な構想を示していく必要があると考えている。

個人質問

次代を担う子どもたちの教育について

田中　英樹 議員

問　**学校司書は、現在1名の配置であるが、大きな役割はレファレンスサービスであると思う。増員の計画について問う。**

答　増員を検討し、継続的に学校司書の充実について努めていきたい。

問　**ICT導入による、子どもたちの学習に対する成果を問う。**

答　各小中学校に、電子黒板機能付プロジェクターを224台、タブレット型PCは237台配備している。動画や写真が容易に活用でき、ダイナミックで動きのあるものになり、生徒の注目も集めやすい。また、集中力を高めるという効果も認められると思う。算数・数学の図形の理解、あるいは社会科や理科の資料を提示するのに力を発揮している。

問　**平成32年度より、外国語活動の小学校3・4年生への導入、小学校5・6年生は外国語科（英語）となることについて、本市の今後の取り組みについて問う。**

答　授業は基本的に学級担任が行い、発音や音声面への専門的支援の立場として、日本人の外国語活動指導助手を、各小学校に1名ずつ配置し、小学校への派遣回数の充実を図っている。

問　**「米百俵の精神」（小林虎三郎）について、所見を伺う。**

答　子どもたちの教育を充実させることが大切であるということは、この精神のとおりであると思う。教育は、未来への投資であるという意味で、本当に共感するものである。そうした気持ちをもって、平成31年度に向けた取り組みへつなげていきたい。

高齢者のフレイル予防について

野々村　照美 議員

問　**フレイルとは、健康な時から要介護になるまでの期間のことだが、予防のためのこれまでの取り組みは。**

答　介護予防事業として、「いきいき百歳体操」の普及啓発に力点をおいて、フレイル状態を把握するための「基本チェックリスト」を活用し、虚弱な人に対して、筋力運動、口腔機能の維持向上、食と栄養についてフレイル予防となる行動が実践できるよう集団指導を行ってきた。

問　**ホームページを活用して「基本チェックリスト」を簡単にできれば周知啓発につながるのでは。**

答　12月に、簡単に活用できるよう掲載を行った。

▲神戸市ホームページより

問　**参加者の健康づくり事業としての位置づけと、ポイント付与については。**

答　今後、課題を整理し検討を行う必要があると考えている。

問　**訪問福祉理容サービスの助成について**
地域包括ケアシステムの生活支援として、訪問理容の考えは。

答　訪問理容サービスを受けることにより、在宅の要介護高齢者にとって生活の質の向上が図られると考える。

問　**訪問理容サービスの助成制度の考えは。**

答　現在のところ考えていない。

問　**訪問理容対応可能店の情報提供の拡大は。**

答　支援業者一覧に登録してもらうために、栗東市商工会や関係団体に働きかけていく。また、「栗東市買物等生活支援者一覧」の内容をさらに充実させていく。

個人質問

栗東市行政改善について

寺田　範雄 議員

問　**職員間の部局を越えた情報交換や交流の取組を問う。**

答　接遇改善をテーマとして「栗東市職員接遇マニュアル」を作成し、職員へ周知した。また、職員の自発的な取り組みとして、定期的に地方創生にかかる勉強会が開催され支援している。

問　**職員からの提案や改善に対する取り組みを問う。**

答　職員の志気の向上に資することを目的に職員提案制度を実施し、過去5年で28件あり12件を採用した。安全衛生委員会を定期的に開催し、意見・提案を受けて継続的な改善を図っている。

問　**人事院勧告を受けて、栗東市特別職報酬等審議会の意見書の対応と、各種報酬対応を問う。**

答　特別職の給料は13市の中で最も低位であり、財政状況を勘案しつつ、職務と職責に応じた適正な給料額のあり方について検討する。

2018.4.1	給料月額（市長）
	条　例
栗東市	684,000円※
草津市	926,000円
守山市	877,000円
野洲市	812,000円

▲近隣市の比較

※平成30年4月1日から平成31年3月31日までの間、649,800円とする。

ごみの発生抑制･減量化の推進について

大西　時子 議員

問　**環境センターの建て替え計画や長寿命化計画はあるのか。**

答　周辺自治会との確約書等により、最長で平成39年度まで稼働できる。

今後の整備方針は、今年度中に長寿命化計画を策定し、次年度以降で検討する。

問　**平成22年にごみ袋が有料になったが、価格はどのように設定したのか。また、ごみ袋の値下げは検討しているのか。**

答　環境保全推進会議の学区役員で構成される、「ごみ有料化検討委員会」で検討した。価格の設定根拠は、ごみ処理にかかる費用（収集から最終処分および建設費）の1割程度を市民に負担いただく想定で算出した。その結果1ℓあたり1円と袋代として1袋5円の負担とあわせて、可燃ごみ袋の大（45ℓ）を1袋50円とした。値下げは予定していない。

問　**在宅介護で必要な紙おむつは、費用負担の軽減として、ごみ袋の無料助成を出来ないのか。**

答　要介護3以上の紙おむつが必要な高齢者に、購入費用の助成をしている。ごみ袋の無料助成は、現在のところ考えていない。

中学校卒業までの医療費助成で子育て支援を

問　**どの子もお金の心配なく、安心して医療を受けられるよう、入院だけでなく通院も中学校卒業まで医療費無料化することについての市長の考えは。**

答　安心して子育てできる環境を作っていくことは、医療費助成の拡充は切っても切れないものと考える。医師会や湖南4市、県全体、国の流れなど総合的に見て、拡充できるよう精一杯努力していきたい。

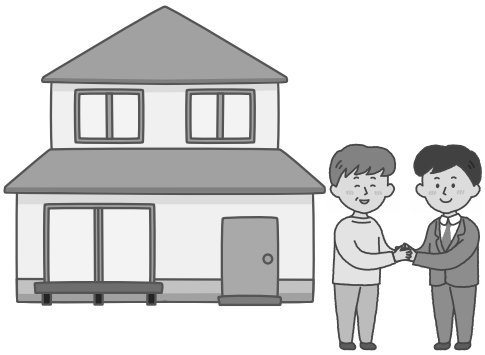
個人質問

迅速かつ実効ある空家等対策について

谷口　茂之 議員

問　**空家等は今後増加する。条例制定と同時に、今すぐにでも実施できる対策、施策があると思うが。**

答　平成25年調査で空家率8.5％と県下最低、管理不全空家等が少ないのが本市の特徴。今後は増加が予想される。予防と利活用重点の「空家等対策計画」を策定し空家バンクの設置や利活用モデル事業、特定空家等認定基準の策定や除却費助成、子育て世帯リノベーションの検討、希望者へのヒアリングや相談会の開催を計画している。



問　**市は、自治会や周辺住民から苦情があってはじめて解決に動くのか、それとも積極的に動くのか。**

答　空家等の情報を常にいただく形で情報共有を図る。住民や自治会など地域と連携して取り組む。

問　**跡地の管理もできない事例を考え、市が介入できる空き地条例的な内容を入れられないのか。**

答　現行「栗東市生活環境保全に関する条例」を活用し対応したい。

問　**空家等の対策とりわけ地方創生の視点から総合的な施策が考えられるが、横断的な取り組みになってないようだが、どういう目標か。**

答　庁内関係課で「空家等対策連絡会議」を設置、地域活力を生み出す人口確保、定着を目指し若者や子育て世代等の移住・定住促進に向けた良好な住環境の整備促進などの議論・検討をしている。

問　**地方創生で方向が決まっているが、いつから行動に移すのか。**

答　今後、空家等対策協議会と庁内の連絡会議なりで連携して、できるだけ速やかにその方向に進めるよう取り組んでいきたい。

ため池の整備の進捗状況と自然エネルギーの活用について

中野　光一 議員

問　**農林水産省が行った7月の豪雨の全国ため池緊急点検の結果は。**

答　1か所のため池で堤体法面の損傷があったので、緊急補修対応を行った。

問　**2年間をかけて実施した重要水防ため池の見直し業務はどのようにしていくのか。**

答　災害の観点から21か所を重要水防ため池としてきたが、決壊時に人的被害をおよぼす危険性のあるため池に絞り込み10か所程度にする予定。

問　**大雨洪水時に決壊の危険のあるため池はあるか。**

答　調査結果では堤体の決壊につながる危険性のあるため池はないが、優先順位をつけながら細かな調査を行い、堤体の整備を続けていく必要がある。

問　**環境基本計画には再生エネルギーの利用を実現化できるよう仕組みづくりを進めますとあるが、以前あった太陽光パネル設置補助金以外にはあるか。**

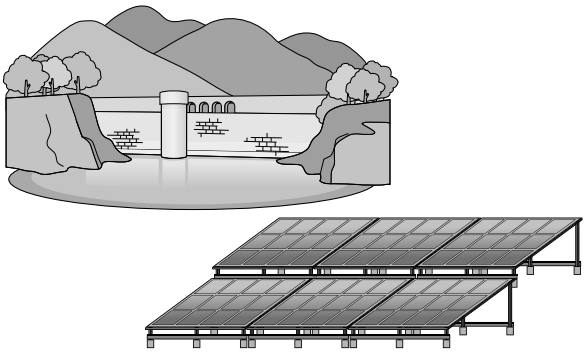
答　具体的な取り組みはないが、県の「スマートエコハウス普及促進事業補助金」を紹介している。

問　**環境基本計画の進捗状況は。**

答　計画通りPDCAサイクルにより環境審議会の意見をホームページに公表し、市民の意見を求められるよう前向きに取り組む。

問　**国体に向けた、市民体育館の改修工事の環境基本計画の視点は。**

答　どのような環境が残せるかは重要な問題。来年全国の競技団体が来られるが環境基本計画はもとより色々な計画を精査し国体成功に向けて最大限努力したい。



個人質問

小学校の卒業式における「袴」等の着用について

中村　昌司 議員

問　卒業式に「袴」等を着用する子どもは毎年少しずつ増えていると思う。おそらく今後、どんどん増加していくことが想定されるが、このことについての認識を伺う。

答　卒業式は学校行事であるため、華美になることなく、普段の着慣れた服装で臨んでもらえたらよい。

問　「袴」等で出席する子どもの卒業式に対しては、賛否両論がある。また、他県等の小学校においては、卒業式の「袴」等の着用を禁じているところもある。こうした世間の賛否両論の意見について、認識を伺う。

答　賛否両論があることは認識している。一概にどちらの考えが望ましいとは言えないが、卒業式が学校行事であることから考えると、華美になりすぎることは好ましくないと考える。

地方選挙等における投票率の向上について

問　改正公職選挙法の施行に伴い、期日前投票制度による投票率の向上や有権者の利便性の向上が可能となりつつあるが、このたびの地方選挙においてどのような対応や改善の進捗がみられたのか伺う。

答　現時点においては、期日前投票所の増設に向けた現状分析を行っている。増設には、投票所の場所の選定、投票管理者や投票立会人、事務従事者など人の選定や期日前投票システム機器等の調達が必要となることから、一定の準備期間が必要である。現在、平成31年10月以降の選挙からの期日前投票所の増設を検討している。

観光都市栗東について

問　マスコットキャラクター「くりちゃん」の、本市への認知度やイメージアップ等の効果を問う。

答　くりちゃんグッズの販売実績増加やゆるキャラグランプリでも毎年順位を上げていることから、徐々にくりちゃんの認知度は上がりつつあるが、本市への来訪や認知度等の効果については、そのような事案は報告として受けているという状況にはない。

記事訂正

2018年11月、No.188号7ページに掲載しております田中英樹議員の個人質問記事について、一部修正がありましたので再度掲載いたします。

▲議会広報編集特別委員会　編集の風景

平成28年2月号より栗東高校美術科似顔絵制作チームによる似顔絵を個人質問ページに掲載していましたが、今後顔写真を掲載することになりました。
似顔絵制作チームのみなさん、ありがとうございました。

第7回子ども議会を開催しました

平成30年11月25日、市内小学校6年生の18人が、子ども議会議員となり、栗東市の現状や課題について提案・質問し、市長・教育長が答弁しました。

名前、質問事項を紹介します。なお、詳しくは後日、市のホームページに掲載しますのでご覧ください。

多田 柊真 議長

①**葉山小学校**
小関 琉誠(こぜき りゅうせい) 議員
・栗東市に街灯を増やすことについて

②**大宝東小学校**
久保(くぼ) 陽(あさき) 議員
・災害の取り組みについて

③**治田東小学校**
漆野(うるしの) 佑哉(ゆうや) 議員
・市の景観を良くする取り組みについて

④**金勝小学校**
社納(しゃのう) 実優(みゆう) 議員
・自然災害対策の取り組みについて

⑤**大宝小学校**
筈井(はずい) 葵生(きなり) 議員
・学校に防犯カメラを設置することについて

⑥**葉山東小学校**
加藤(かとう) 煌(あき) 議員
・いろいろな世代の人が楽しめる公園について

（議長）

野坂 美月 議長

⑦**葉山小学校**
三島(みしま) 寛生(ひろき) 議員
・森林伐採や地球温暖化が進まないようにすることについて

⑧**大宝小学校**
西村(にしむら) 澪(みお) 議員
・ポイ捨て対策の取り組みについて

⑨**治田小学校**
宮脇(みやわき) 巧海(たくみ) 議員
・運動・スポーツにおいてみんなが楽しめる環境をつくることについて

⑩大宝西小学校
庄 悠希（しょう はるき）議員
・栗東市をPRすることについて

⑪治田東小学校
田山（たやま） さくら 議員
・自然災害対策のための取り組みについて

⑫治田小学校
多田（ただ） 柊真（しゅうま） 議員
・ふるさと納税の返礼品に体験型チケットを加えることについて（議長）

⑬治田西小学校
寺井（てらい） 紫音（しおん） 議員
・児童虐待問題について

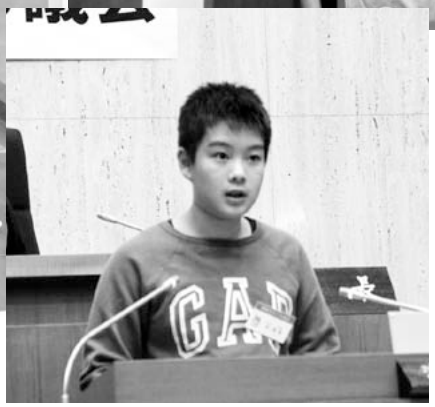
⑭大宝東小学校
川崎（かわさき） 桜（さくら） 議員
・市民プールの設置について

⑮大宝西小学校
水口（みずぐち） 直哉（なおや） 議員
・栗東市に子どもなどが遊べる施設を作ることについて

⑯葉山東小学校
長井（ながい） 光希（こうき） 議員
・障がいのある方も笑顔でくらせる栗東市について

⑰治田西小学校
甲斐田（かいだ） 夕月（ゆづき） 議員
・子ども食堂について

⑱金勝小学校
野坂（のさか） 美月（みづき） 議員
・自然災害の避難場所の確認、避難用具の準備について（議長）



閉会中の活動報告

議会閉会中は、地域での議員活動のほかに、特別委員会を開催したり、他市からの行政視察の対応を行ったりしています。例えば、議会改革特別委員会は、「予算及び決算審査のあり方検討部会」「議会改革推進部会」にわかれ、議論を重ねてまいりました。その結果、9月定例会では、より深く議論を進められるよう、分科会方式での決算特別委員会を実施しました。

▲議会改革特別委員会の様子

また、「議会災害時対応」について、他市から視察に来られた際に、本市の状況を説明し、意見交換を行いました。

▲議会災害時対応の紹介をしました（大分県国東市他来庁）

傍聴にお越しください

本会議・委員会審査は、どなたでも自由に傍聴いただけます。

開会時間は、いずれも9時30分を予定しています。（ただし、3月12日、19日、20日は13時30分）

日程については、現段階での予定であるため、変更になる場合がありますのでご了承ください。

また、手話通訳者の配置をご希望の方は事前に議会事務局へ連絡をお願いします。

●問い合わせ　議会事務局（市役所4階）
TEL：551-0137　FAX：551-0146　✉：gikai@city.ritto.lg.jp

3月定例会の予定

2月26日	本会議（議案上程等）
3月 5日	本会議（代表質問）
6日	本会議（代表質問・個人質問）
7日・8日	本会議（個人質問）
11日～19日	予算常任委員会
20日	総務・環境建設・文教福祉各常任委員会
25日	本会議（委員長報告・採決）

（土・日・祝を除く）

これまでの議会の様子は、YouTubeの動画でご覧いただけます。栗東市議会のホームページにリンクがありますので、ご参照ください。

編集後記

昨年、10月28日に行われた市議会議員補欠選挙で新しく2名の議員が当選され12月定例会は、久しぶりに18名で議案審査に臨みました。

平成の元号はあと3か月で新しく変わります。次の議会だよりは新しい元号で発行させていただきます。

元号が変わっても、変わらないのが、「より親しんでいただける紙面づくり」をめざす、議会広報編集にあたる、メンバーの心意気です。

議会広報編集特別委員会
（委 員 長）野々村照美
（副委員長）三木 敏嗣
（委　　員）藤田 啓仁　大西 時子
中村 昌司　櫻井 浩司
武村　賞

VEGETABLE OIL INK 「りっとう議会だより」は、古紙配合の再生紙とベジタブルインクを使用しています。